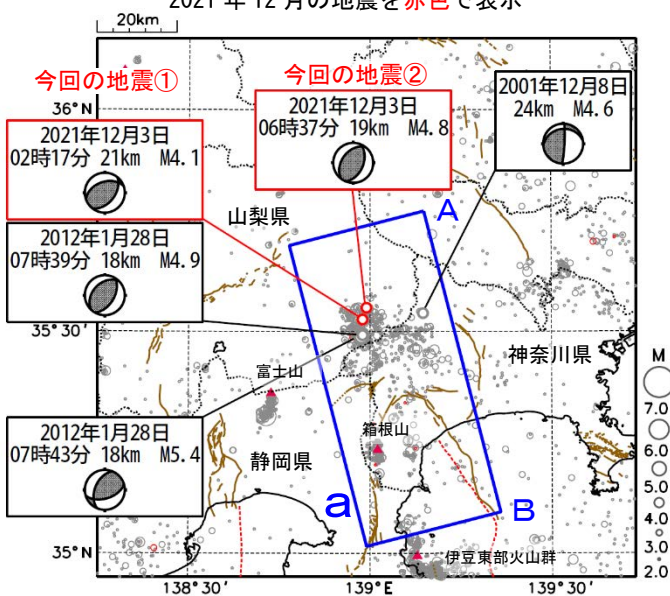


# 12月3日 山梨県東部・富士五湖の地震

震央分布図  
(1997年10月1日～2021年12月31日、  
深さ0～60km、 $M \geq 2.0$ )  
2021年12月の地震を赤色で表示

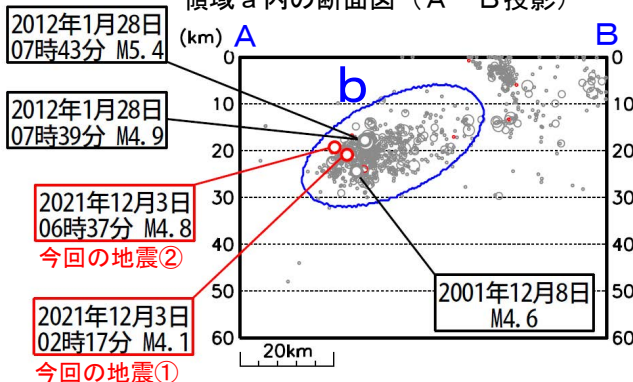


2021年12月3日02時17分に山梨県東部・富士五湖の深さ21kmでM4.1の地震（最大震度4、図中の①）が発生した。この地震の発震機構は、北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。その後、同日06時37分に深さ19kmでM4.8の地震（最大震度5弱、図中の②）が発生した。この地震の発震機構は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

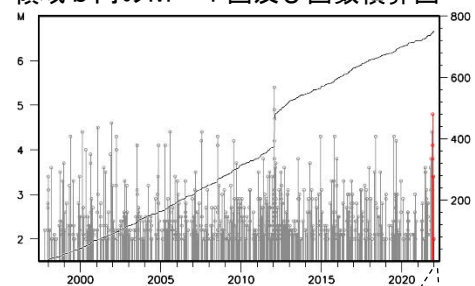
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M4.0以上の地震が時々発生している。2012年1月28日にはM4.9の地震（最大震度4）が発生した4分後にM5.4の地震（最大震度5弱）が発生した。

1919年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0以上の地震が時々発生している。今回の地震の震央の近傍では、1983年8月8日に発生したM6.0の地震により丹沢山地で落石があり、死者1人、負傷者8人の被害があったほか、負傷者25人、家屋全半壊2棟などの被害が生じた。（「日本被害地震総覧」による）。

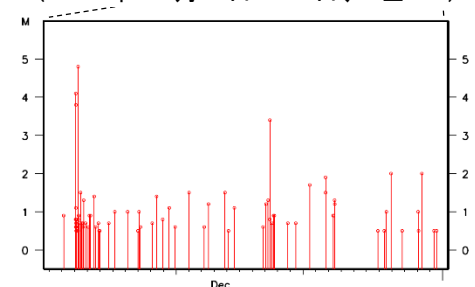
領域a内の断面図（A－B投影）



領域b内のM-T図及び回数積算図

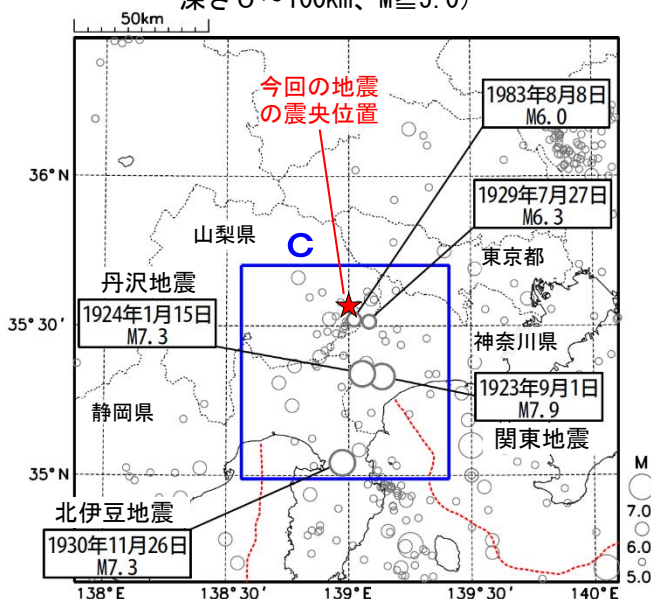


(2021年12月1日～31日、 $M \geq 0.5$ )

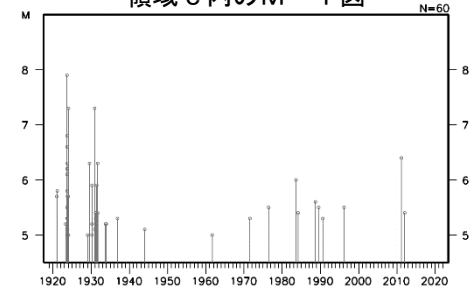


震央分布図

(1919年1月1日～2021年12月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ )



領域c内のM-T図



本資料の図中、赤色の破線は海溝軸、茶色の実線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層、赤色の三角は活火山を示す。

気象庁作成